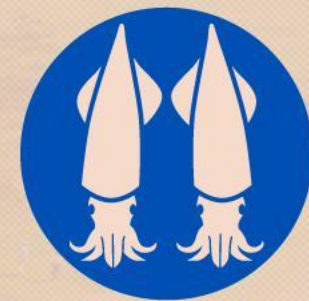


通称: **ハチクロ**

HACHINOHE X-Tech Innovation

テック企業と行政職員が協働する、新たな地域課題解決プロジェクト



オンライン課題説明会

2026年7月9日(木)

15:00～スタートします。

開始までしばらくおまちください。



はじめに

- ・ Zoomの表示名を「**企業名_お名前**」に変更していただけると助かります。
- ・ 顔出し可能な方は、**カメラON**をお願いします。





本日の趣旨

- ・ 全体事業説明のあと、担当課＋提案検討企業（複数社）に分かれて、質疑応答＋ディスカッションしていただきます。
- ・ 今日のディスカッションを通じて、
本質的に解決すべき課題について理解を深めていただくこと、
様々な課題解決のアプローチがあるという共通認識を持っていただくことを目的としています。





お願い

- ・ 機密情報の取り扱いについては、各社の責任・判断のもとでお話いただくようお願いします。
- ・ 全体説明は録画を公開予定ですが、各部屋の録画は公開しません。
- ・ 業務委託(仕様が決まっている発注)ではありませんので、想定する解決策以外の自由なご提案が可能です。
- ・ 本日が担当課と直接お話できる最後の機会です。
(追加の個別質問は原則お受けできません。)





説明会の流れ(1時間15分)

時間		内容
15:00～15:05	5分	Hachinohe X-Tech Innovationとは(八戸市産業労政課)
15:05～15:10	5分	Hachinohe X-Tech Innovation事業の流れ 事務局
15:10～15:15	5分	各課紹介(30秒挨拶)
15:15～15:50	35分	各担当課より課題説明 & 質疑応答ブレイクアウトルーム
15:50～16:00	10分	全体Q&A、よくあるQ&Aの紹介
16:00～16:05	5分	クロージング 事務局
16:05～16:15	10分	個別質問受付
16:15		終了(予定)





産業労政課
企業誘致推進グループ
リーダー
加藤 友哉

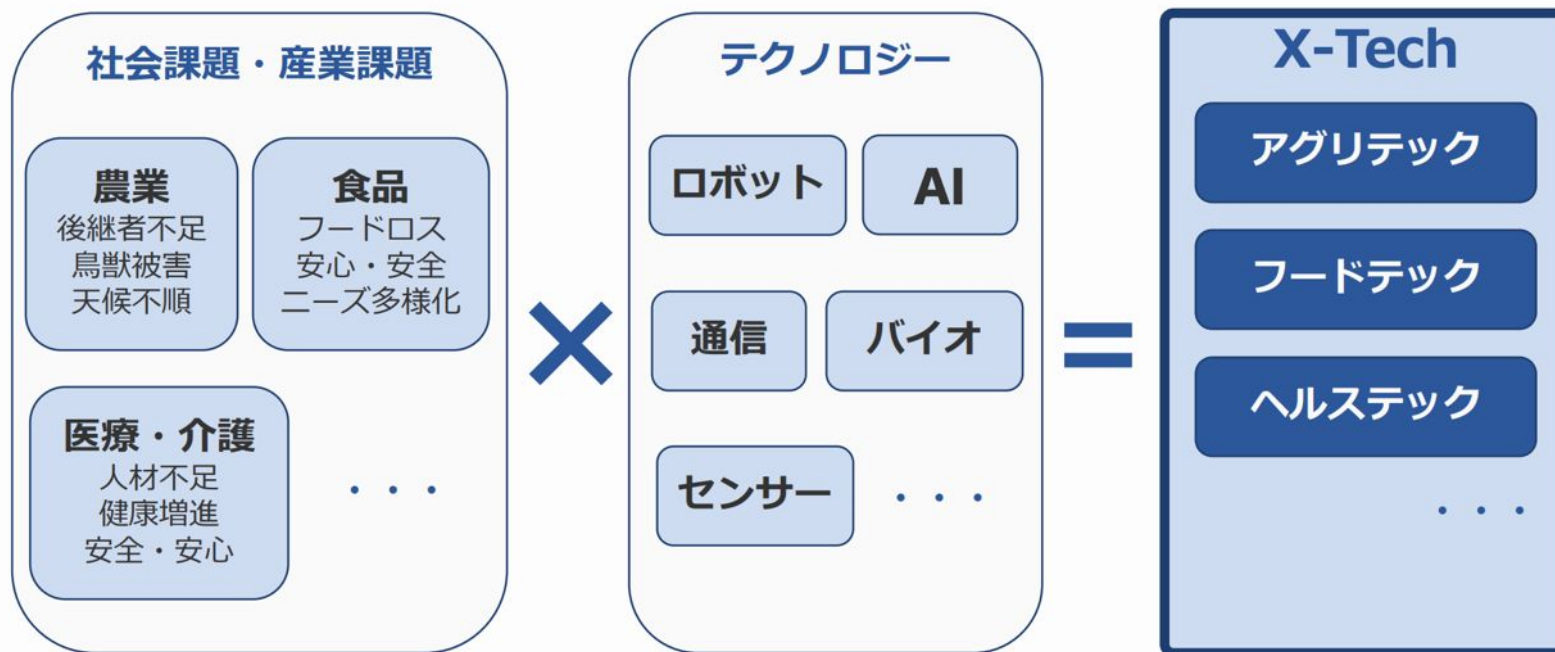




事業目的

デジタル技術によって解決が期待される地域課題を見える化し、
IT関連企業の参入機会を創出することにより、当市へのIT関連企業の立地促進を図る。

X-Tech（クロステック）とは





Hachinohe X-Tech Innovationで目指すこと

社会課題・産業課題の解決



担当課の解決を目指す



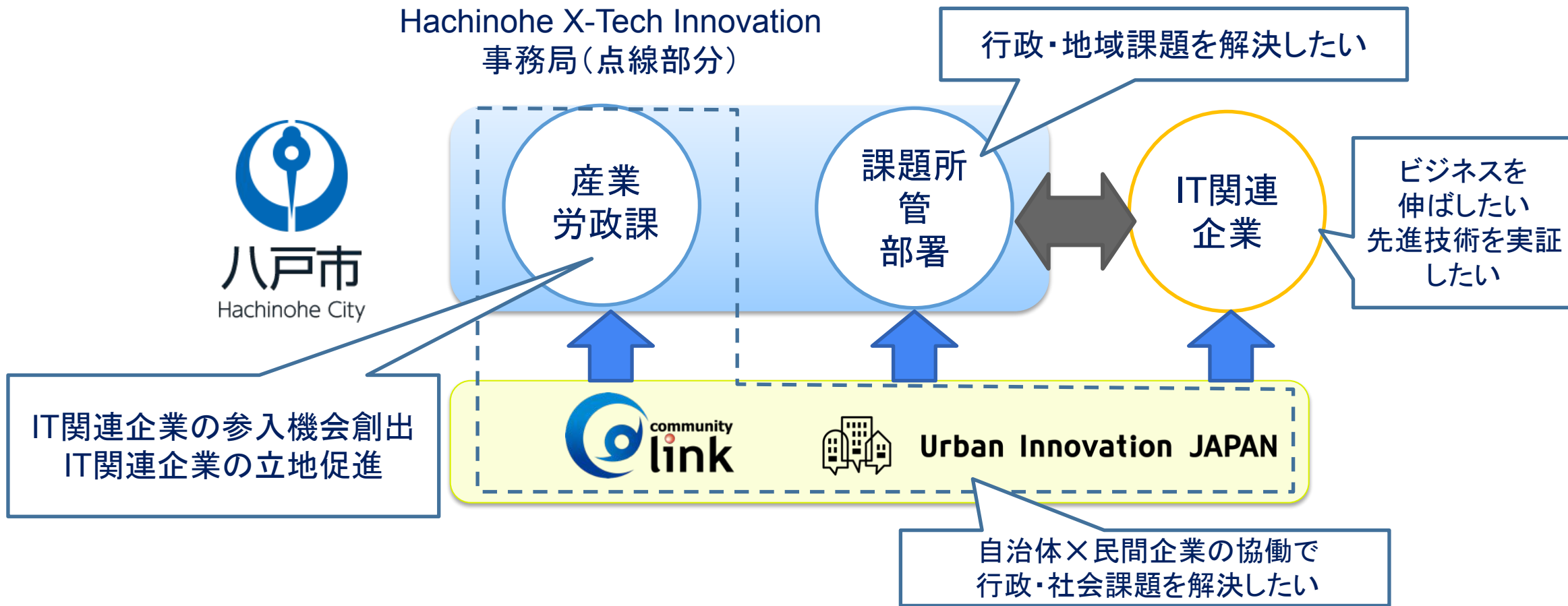
八戸をフィールドに
新しい技術や
アイデアを試す





体制

担当課と企業の協働プロジェクトを、事務局がご支援します。





昨年度(2025年度)の様子

取り組んだ課題

町内会・自治会の加入者減少と活動参加率の低さが課題でした。また、町内会の活動内容が住民に周知されておらず、加入方法や窓口も不明確で、従来の紙ベースのアナログな運営が加入の心理的障壁となっている状況でした。



しがとせかい

実証内容

地域情報発信サイト「ミンログ」を開発・導入しました。生成 AIを活用した地域情報の発信、デジタル回覧板、イベント申込、お知らせ通知機能を実装。高館地区で3ヶ月間の実証実験を行い、アンケートや防災ワークショップを通じて利便性やデジタル化への受容性を検証しました。

実績・成果

サイト閲覧数は約9,000回に達し、利用者アンケートでは8割以上が継続利用を希望しました。デジタル窓口が加入の心理的ハードルを下げる事が示唆され、来年度の市内4地域への本格導入や、他都市への展開など、今後の広がりにつながる成果を得ました。

メディアでも多数取り上げていただきました。





今年度の4つのテーマ

※最大3テーマを採択

Hachinohe X-Tech Innovationとして、協働で課題解決をめざす企業を募集！

①畜産林政課

クマが街に降りる前に！
先回りの“最速検知”の仕組みを
作りたい！



②都市政策課

バラバラの駐車場情報を連携！
一目で空きがわかる仕組みを
作りたい！



※本画像はイメージ



③都市政策課

看板管理の全業務を
AIエージェントで
丸ごと自動化したい！



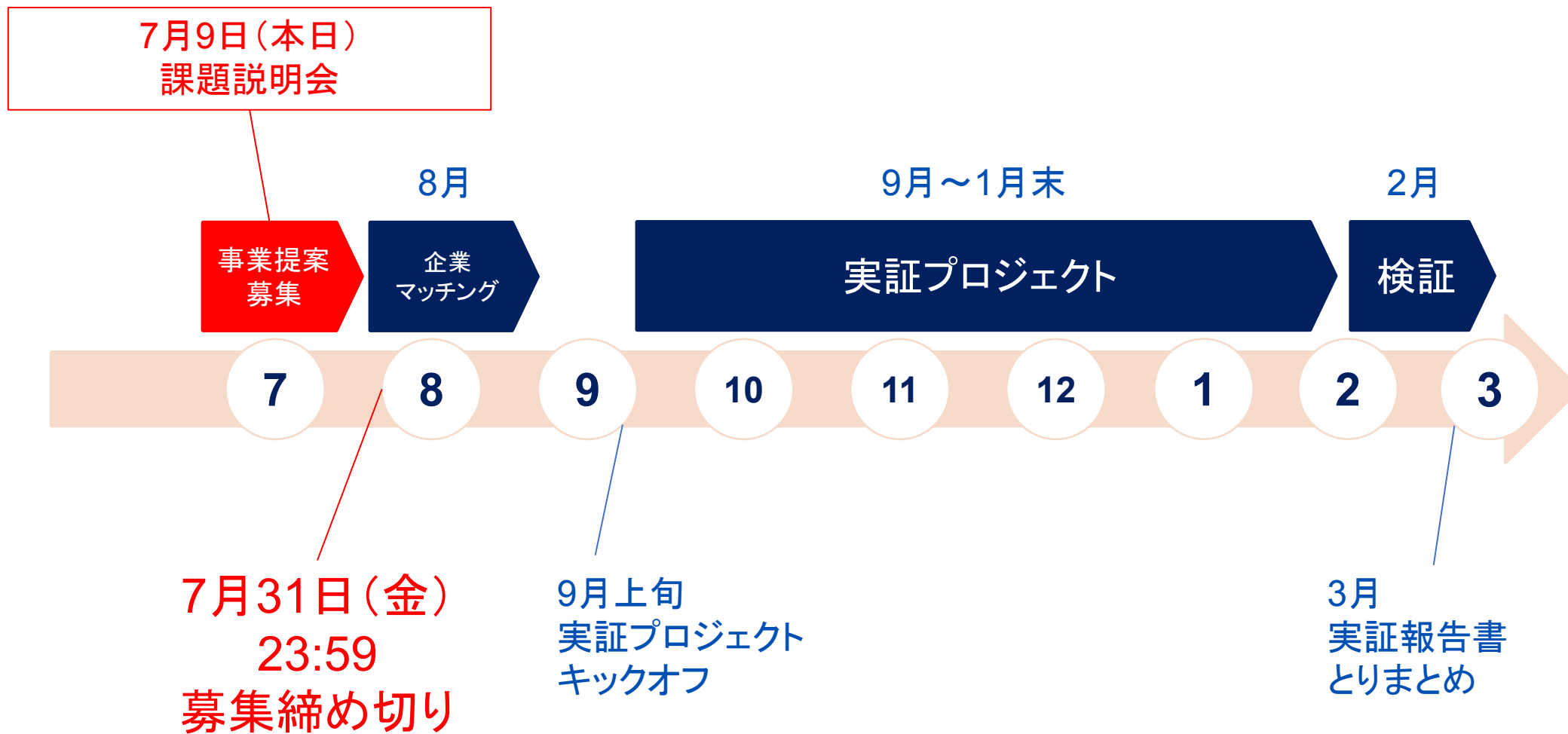
④水産事務所

魚市場をデジタルでつなぎ、
早朝の「来てみないとわからない」をなく
したい！





事業スケジュール





八戸市からの3つのサポート



実証補助 最大50万円/課題



実証フィールドの提供



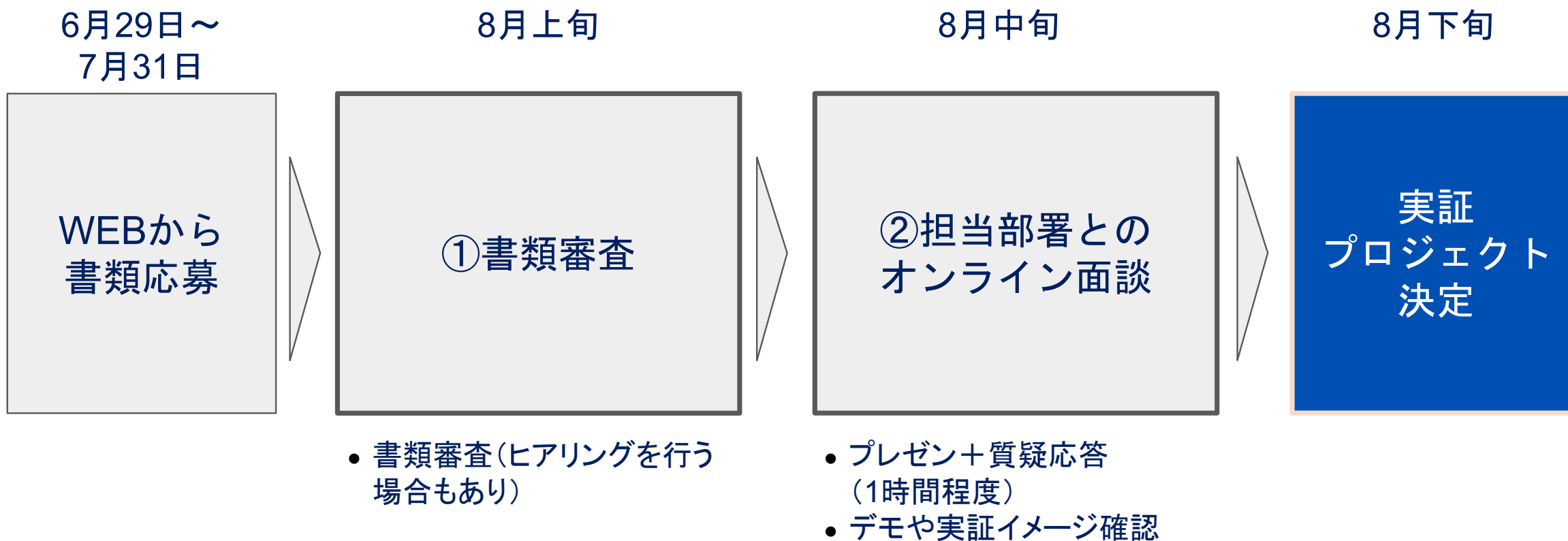
**事務局による
プロジェクトサポート**





選考プロセス

2段階で選考を実施します。





担当課面談日程案内

各課題の担当課面談の予定日は以下の通りに想定しています。
もし不都合がある場合は、書類選考通過のご連絡の際にご相談ください。

課室名	担当課面談日時
畜産林政課	8月19日(水)9:00～17:00
都市政策課(駐車場)	8月18日(火)9:00～15:00
都市政策課(屋外広告物)	8月18日(火)15:00～17:00 8月20日(木)9:00～12:00
水産事務所	8月25日(火)9:00～17:00





審査基準

八戸市をフィールドに新たな挑戦していただける企業

課題解決に継続的に取り組んでいただける企業のご応募をお待ちしています。

審査項目	内容	配点
チャレンジ性・新規性	提案する解決策に先進性や面白みがあるか 他のサービスと差別化できる要素を持っているか 既存商材をそのまま使うだけでなく、実証実験要素を有しているか 同時に、市民や地元企業にとって身近に感じられそうなものか	15点
課題理解度・改善効果	テーマを適切に理解し、合理的な解決手法を提案しているか 提案技術・サービスにより課題に対して高い改善効果が期待できるか	20点
事業継続性	実証だけに終わらず、継続的に実装に繋がる可能性のある取組みになっているか 市内広域、他都市等への展開が可能なものか	20点
市民/ユーザー目線	技術やサービスの開発プロセス/実証実験のプロセスに、開発側の意向だけでなく、市民・ユーザー目線を積極的に取り込む要素が含まれているか	15点
協働や地域巻き込みへの積極性・八戸市との持続的な関係	学生や市民、他企業との協働に関わるJの経験、または協働・地域巻き込みへの高いモチベーションや能力を有しているか 事業終了後も何らかの形で八戸市に関わり続ける余地・可能性が感じられるか	20点
チーム構成・能力	チームメンバーがバランスよく構成されているか スケジュールやKPI管理など、プロジェクトマネジメントに対する不安感はないか 課題に関する知見がありそうか	10点
合計		100点

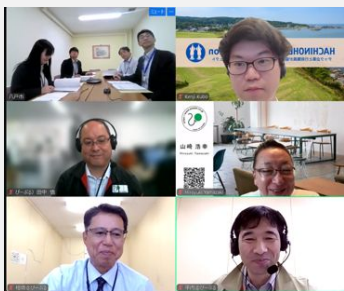




協働実証期間の流れ

1ヶ月目

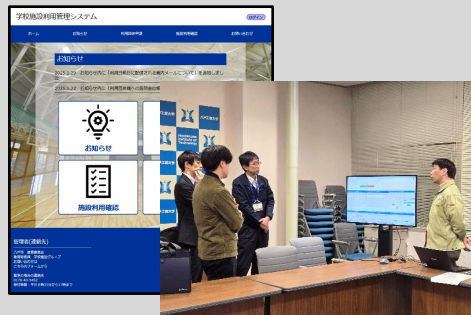
- 方向性の決定
- ・週一度程度の打ち合わせ



- ・ 実証実験のゴールの決定
- ・ 週一回のミーティング
- ・ データ収集、市民へのインタビュー、現場視察など実施

2-3ヶ月目

- 開発
- ・ 機能・アイデアのブラッシュアップ
- ・ デザイン・UIの改善



- ・ 参加企業による開発
- ・ 関係者向け初期テスト
- ・ 実際の利用者向けテスト準備
- ・ プレスリリース準備

4ヶ月目

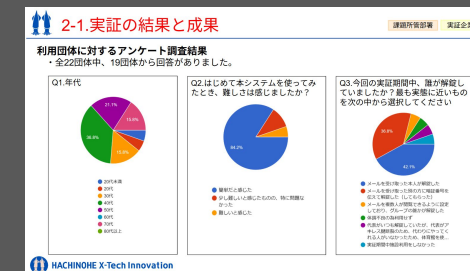
- 現場実証・ユーザテスト
- ・ 実用性の確認
- ・ 広報、PR



- ・ 実証実験の立ち会い
- ・ プレスリリース

5ヶ月目

- 振り返り
- ・ 実証の評価
- ・ レポート作成



- ・ インタビュー、アンケート
- ・ 分析・改善点の洗い出し
- ・ 報告書作成

企業に対して実証実験の支援金として市が **50万円**支給(税込み)



HACHINOHE X-Tech Innovation



こんな企業のご応募をお待ちしています！

- ✓ 本気で地域や社会課題の解決をしたいと思っている
- ✓ 地域・行政関係で新しいビジネスを作ろうとしている
- ✓ リスクをとって事業拡大を目指している



各課紹介

①畜産林政課

クマが街に降りる前に！
先回りの“最速検知”の仕組みを
作りたい！



②都市政策課

バラバラの駐車場情報を連携！
一目で空きがわかる仕組みを
作りたい！



③都市政策課

看板管理の全業務を
AIエージェントで
丸ごと自動化したい！

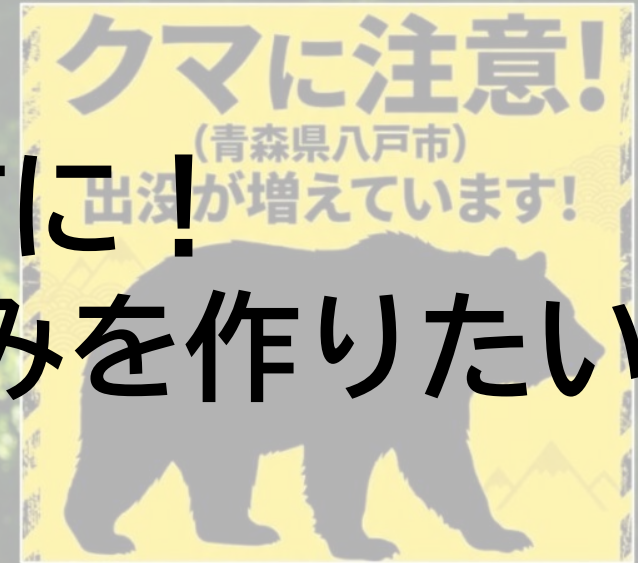


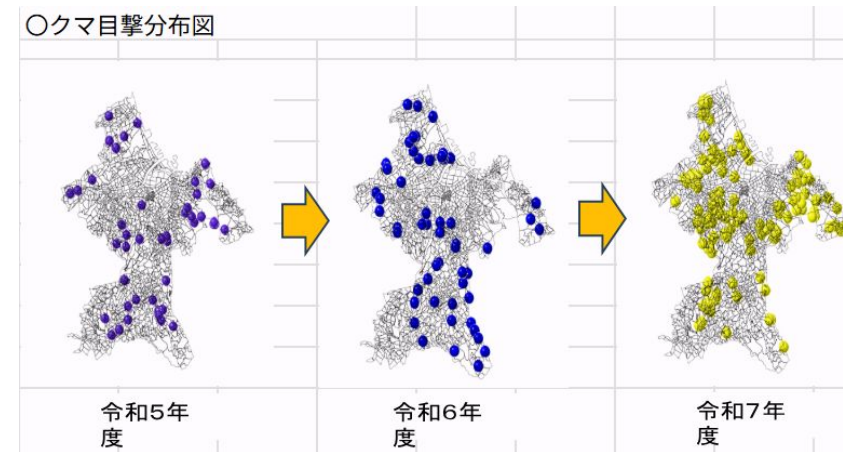
④水産事務所

魚市場をデジタルでつなぎ、早
朝の「来てみないとわからない」
をなくしたい！



クマが街に降りる前に！
先回りの“最速検知”の仕組みを作りたい！

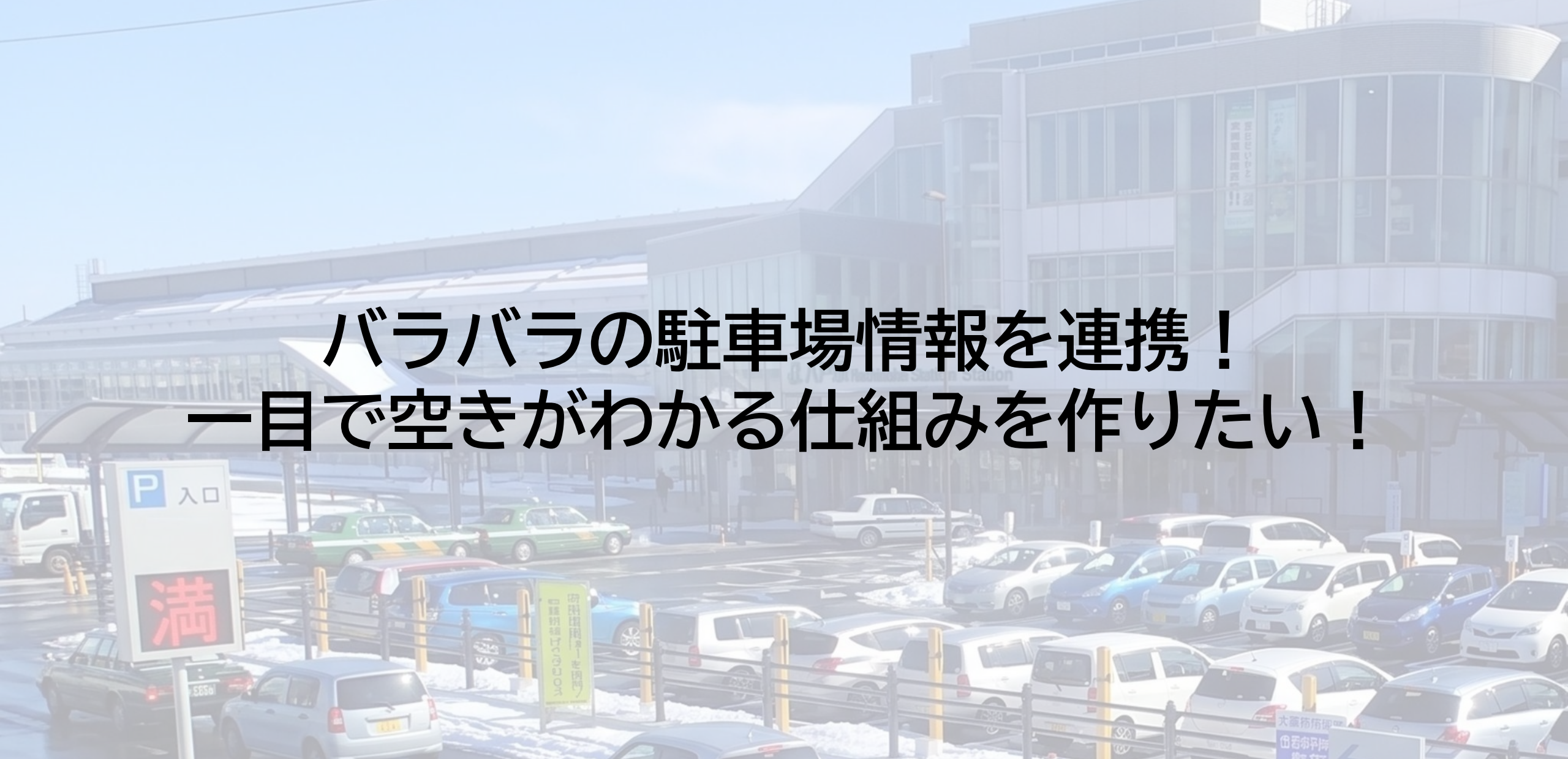




どうしたら、クマや他の野生動物を「人の生活圏に入る前」に検知し、
その情報を市や地元住民とも共有・協力しながらタイムラグなく速やかに、
対応できる仕組みを構築できるだろうか？

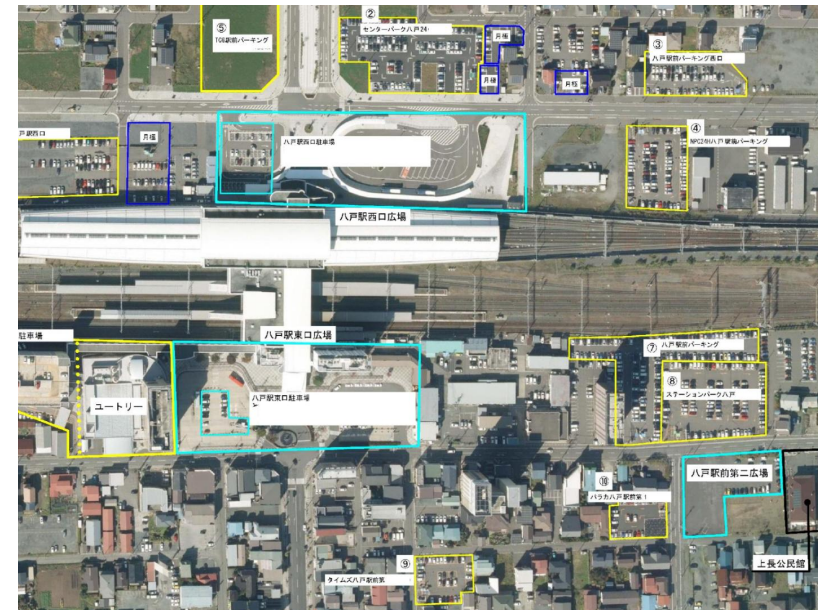


HACHINOHE X-Tech Innovation



**バラバラの駐車場情報を連携！
一目で空きがわかる仕組みを作りたい！**

都市政策課



どうしたら、運営者の異なる複数の駐車場の「いまの空き」情報を連携させ、
ドライバーが八戸駅に着く前に行き先を選べるようにできるだろうか？



HACHINOHE X-Tech Innovation



看板管理の全業務を
AIエージェントで丸ごと自動化したい！

都市政策課



どうしたら、現場で見かけた一枚の看板について、許可済みか・条例に合っているかを、担当者でなくてもその場で見極められるようになるだろうか？



HACHINOHE X-Tech Innovation



魚市場をデジタルでつなぎ、

早朝の「来てみないとわからない」をなくしたい！

水産事務所



どうしたら、仲買人が来場前に「今日どんな魚が上がり、何時から販売されるか」といった市場の情報を事前に把握でき、「効率化の第一歩」を踏み出せるだろうか？



HACHINOHE X-Tech Innovation



各担当課より課題説明 & 質疑応答 ブレイクアウトルーム

ブレイクアウトルームは**35分間**で実施します。
途中移動していただいてもOKです。

【お願い】

- ・ 競合する企業同士かもしれませんが、ぜひ顔出しをお願いします。
- ・ 全員が質問できるように配慮ください。一人一問程度で順番にご質問ください
- ・ 課題解決に向けた前向きな議論をお願いします。
- ・ 他の参加者や担当課への迷惑行為が認められた場合には、事務局判断で退室いただく場合があります。
- ・ 時間内で終わらない場合は、全体終了後に延長戦を行います。(16:05～16:15)





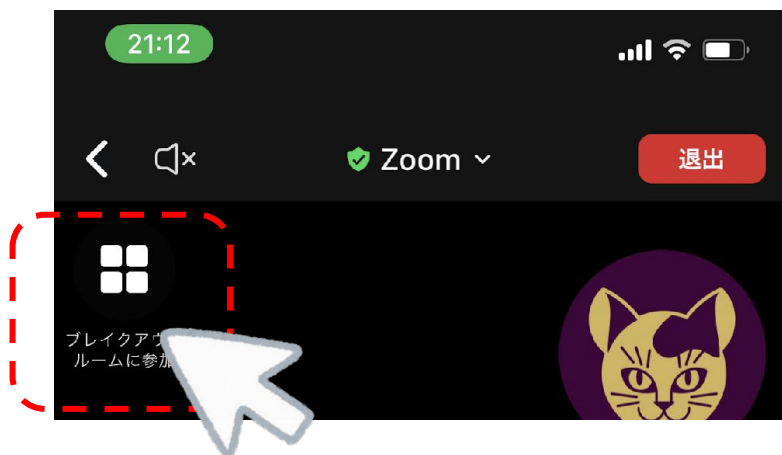
ブレイクアウトルームへの参加方法

■入室方法

画面下部のブレイクアウトルームボタンを押し、部屋を選択して、入室してください。



スマホの方は、画面左上のボタンから入室してください。



ただいまブレイクアウトルームでのディスカッション時間となっています。
上記画面操作により、ご興味のあるテーマの部屋に移っていただけますと幸いです。





応募方法

応募はホームページのフォームからお願いします。



Urban Innovation JAPAN

自治体とスタートアップをマッチング

プラットフォームの仕組み

課題を探す

実証事例

応募時のポイント

Q&A

[自治体向けページはこちら](#)

実証に応募する

八戸市 (青森県)

Hachinohe X-Tech Innovation

八戸市は、昭和39年の新産業都市指定以降、国際物流拠点港の八戸港、東北新幹線や高規格道路の交通網、工業団地などの産業インフラの充実、大学・高専などの高等教育機関による優秀な人材輩出を背景に、東北屈指の産業都市として発展してきました。今、私たちを取り巻く環境は、人口減少や少子高齢化の進行、デジタル化の進展、グリーン・循環型社会の実現に向けた取組の加速化など、これまでになく変容しており、当市においても大きな変革の時を迎えています。このような時代において、明るい未来を切り拓いていくため、工業団地の開発や国際物流拠点港「八戸港」の利便性向上などの取組を進めているほか、自動車や航空機、ヘルスケア、デジタル関連産業などの成長産業分野の振興に取り組んでいます。その一環として今回取り組んでいるのが「Hachinohe X-Tech Innovation（通称：ハチクロ）」です。

本プロジェクトの説明会開催中！▶



HACHINOHE X-Tech Innovation

通称：
ハチクロ



熊谷八戸市長と八戸市産業労政課が
皆様からのご応募をお待ちしております！



HACHINOHE X-Tech Innovation



ご応募時のポイント

- ・ 業務委託ではありませんので、自由なご提案が可能です。
担当課が望んだとおりのご提案だけではなく、各社の技術を活用した課題解決策を持つご提案を幅広く募集しています。
- ・ 製品・サービスのイメージの伝わる画像や資料があると嬉しいです。
- ・ 提案企業にとって実証したいことや、
事業参加のメリットもお伺いしたいです。
- ・ チーム情報には、できるだけ具体的なメンバーとお持ちの専門性をご記載いただけると助かります。





よくある質問

Q. 実証支援金を超える費用がかかった場合は請求できますか？

A. 今年度の実証にかかる費用でお支払いできるのは、課題1件あたり50万円（税込み）上限となっています。超過する部分については、ご負担をお願いします。

Q. 提案前にもう一度担当部署と話したいのですが。

A. 提案前に個別に担当部署と面談することはできません。今日の時間内にぜひご確認ください。審査の中で担当課と面談の機会がございますので、その際に詳細なすり合わせが可能ですので、まずはご提案いただけますと幸いです。また、最終審査前に提案書の更新も可能です。





お問い合わせ

- ・詳しい募集要項はホームページをご覧ください。
- ・ご質問は事務局までご連絡ください。

※担当課への直接の問合せはご遠慮ください。

Hachinohe X-Tech Innovation事務局

urban_innovation_japan@communitylink.jp （Urban Innovation JAPAN事務局）





アンケートのお願い

本日の感想など、ぜひ聞かせてください。

以下のアンケートへ回答いただくと、本日使用した資料のダウンロードが可能です。



皆さまのご応募
お待ちしております！



HACHINOHE X-Tech Innovation